No.331

アイムGENKI!

新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。
旧年中は、古賀道場グループの活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年も、空手道場・英語道場・夢の学校、そしてゆめのわと、それぞれの場において多くの学びを得る一年となりました。

さまざまなことに挑戦し、学び合うことを大切にする中で、子ども達だけでなく、私たち指導者自身も大いに学ばせていただいた一年であったと感じております。

古賀道場グループは、誰かが一方的に教える場ではなく、指導者もまた、空手の指導を通して、英語の指導を通して、そして様々なプログラムを通して、子ども達と共に学び合うことができる場でありたいと考えています。

「先生」と呼ばれる立場にある私たちも、学ぶ歩みを止めることなく、常に子ども達よりも何歩も前を歩き続けられる存在でありたいと思っております。

本年も、空手道場では多くの学びの場が生まれることでしょう。

英語道場では、さらに深く、広い学びを積み重ねていく一年となるでしょう。

また、夢の学校では、学校ではなかなか学ぶことのできない「生きた学び」を大切にした取り組みを進めてまいります。

そして、日々の中では実感しづらい子ども達の成長を、できるだけ「見える形」で感じていただけるよう、工夫を重ねてまいります。

どうぞご期待ください。

古賀道場グループの存在意義は、みんなが「学び合う場」であることにあります。

ここで学ぶ子ども達、私たち指導者、そして保護者の皆様も含め、関わるすべての人が共に学び、共に成長できる一年となることを、心より願っております。

本年も引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

古賀道場グループ
代表　古賀　大之

和道流空手道古賀道場

空手道場では本年も、「心を育て、身体を育てる」という最も大切な目標をぶらすことなく、道場生一人ひとりが切磋琢磨しながら稽古に励んでまいります。
和道流空手の精神である「敬・愛・禮」を、ただ言葉として知るだけでなく、日々の稽古や生活の中で深く考え、少しずつでも自分の心に刻んでいってほしいと願っています。
古賀空手道場で黒帯まで成長した子ども達が、技術だけでなく、心の在り方や行動の面においても、他の子ども達との間に確かな成長の差を感じられる存在となること。
　そして、その「黒帯」という成長の証を一つの目標として、道場生全員が同じ志を持ち、日々精進してまいります。

古賀英語道場

英語道場では、「ここでの学びを将来の力とする」という目標を引き続き大切にしながら、本年はさらに一歩踏み込んだ学びを進めてまいります。
「なぜ英語を学ぶのか」
「英語を学ぶことで、どのような力が身につくのか」
この当たり前のようでいて、とても大切な問いを、子ども達と一緒に考えながら学習を進めていきたいと考えています。また、
「今、何がどれくらいできるようになったのか」
「今、どんな力が育ってきているのか」
といった成長を、できるだけ“目に見える形”で実感できるよう工夫を重ねてまいります。
　ここで英語を学ぶことの意味や価値を明確にし、子ども達一人ひとりの学習意欲がさらに高まっていくような環境づくりを目指します。

放課後スクール夢の学校

夢の学校では、放課後の時間を「学びの多い時間」とするため、本年もさまざまな体験型プログラムを実施してまいります。
学校ではなかなか学ぶことのできない「生きた学び」を大切にし、今年度より新たに、
・細川亮による「生きる」ことについて考える哲学講座
　・今泉晴喜による、生きたお金について学ぶ講座
を実施する予定です。
新たに「生きる」を考える“おかしら”、そして「お金」を学ぶ“おかしら”を迎え、高学年の子ども達を中心に、これからの人生を力強く生きていくために必要な体験と学びを、本格的に積み重ねていきます。
ここで育った子ども達が、これからどのような成長を見せてくれるのか、今から大きな期待を寄せています。
　夢の学校でしか学ぶことのできない経験が、子ども達を大きく育てる一年となることでしょう。

放課後デイサービスゆめのわ

放課後デイサービスゆめのわは、開所から三年目を迎える本年度、新たなスタッフを迎え、これまで以上に子ども達一人ひとりに寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
スタッフ一同、ここで育っていく子ども達が、将来、ゆめのわで培ったそれぞれの力を活かし、社会の中で役割を持ち、貢献できる人生を歩んでいけることを願っています。
　そして、自分自身の居場所を自らつくり、幸せを実感しながら生きていける、そんな人生を送ることができるようになることを目標に、日々の支援に全力で取り組んでまいります。